

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	当院における direct acting antivirals (DAA) 治療後の SVR 後発癌の検討
研究責任者 (所属科名)	永田信二 (消化器内科)
本研究の目的・意義	2014 年の Genotype1 型 (G1) に対するアスナプレビル・スンベプラを皮切りに、多数の経口抗ウイルス薬の登場により、C 型慢性肝炎/非代償性肝硬変に対する治療は DAA が第一選択となり、治療成績は著しく向上した。今回我々は当院における DAA 治療による SVR が得られた症例の肝発癌に寄与する因子について検討する。
調査方法・研究期間	Case series データ収集期間：2014 年 9 月～2018 年 8 月 研究期間：平成 31 年 5 月 1 日 (解析期間等含む)
該当資料・データ	★対象となる患者様 対象は当院にて DAA 治療を行い SVR24 に至った 229 例 (DCV/ASV : 67 例、SOF/LDV : 76 例、OBV/PTV : 9 例、ELV/GZV : 9 例、SOF/RBV68 例) の患者様。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-257-5211 担当者：柁木 慶一 (副部長)
備考	